



ミャンマーに軍事政権成立後、バングラデシュに流入した難民は二十六万二千人に上る。国境を接するバングラデシュの南部の都市コックスバザールを中心に四月中旬から二週間滞在し、十二のキャンプを巡回診療した。「バングラデシュはもうすぐ雨季に入る。明けた後、集団食中毒や伝染病がまん延する可能性がある」と訴える。

日本の民間医療組織としては初めて難民キャンプに入り「日

本」のNGO（非政府組織）に対する期待の大きさをひしひしと感じた。現地からは「日本をアシの一員としてみている」。キ

現地の政府や他国のNGOと話し合った結果、薬による畜生除と衛生教育を担当。一緒に現地入りしたバングラデシュ

滞在。「アフリカに住む人間の明るさに魅せられた」とアフリカに住む夢を抱いた。その手段として医療を選び、二十五歳で秋田大医学部に入学した。

ミャンマー難民を救うためアジア医師連絡協議会の医師団に参加した

つまがり けんじ
津曲 兼司さん



日本への期待感ひしひしと

キャンプは飽和状態で、子供が下の医師らと紙芝居を作って、各痢からの脱水症状で犠牲になっ

東京外語大二年生の時、ケニアに留学の機会を得て、一年半

カンパで実演した。各に妻美幸さん（三三さん）と二人暮らし。「九月にもう一人増えるんですよ。千葉真松戸市出身。三十五歳。」

在学中にアジア医師連絡協議会（AMD A）の活動に加わった。そのAMD Aは来年、緊急の災害時などに対応する多国籍医師団の結成に向け準備中だ。「AMD Aも参加するプロジェクトで近い将来にアフリカへの医師派遣が具体化しつつある。また、あの大地が踏める」と舌が弾む。岡山市佐山の自宅